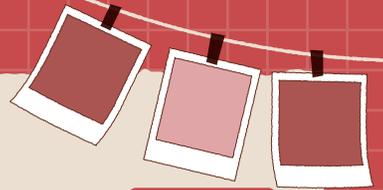


1月の出来事を 写真で紹介!



1月18日

令和8年犬山市消防出初式を開催



消防団員によるはしご乗り

南部公民館とするすみふれあい広場で令和8年犬山市消防出初式を開催し、消防署員など約350人が参加しました。

第一部では、南部公民館で式典を開催し、第二部からは会場をするすみふれあい広場に移し、鳴子踊りチーム笑による演舞や和太鼓団体の尾張富士さくら太鼓による演奏、消防団員によるはしご乗り訓練などを実施しました。

続く第三部では、ポンプ車や救急車への試乗体験のほか、最後に名古屋市消防航空隊によるヘリコプターでの訓練展示及び祝賀飛行も行いました。

1月23日

東洋紡株式会社犬山工場と協定を締結



古関工場長と原市長

東洋紡株式会社犬山工場と「災害時における指定緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結しました。

この協定は、同工場の体育館、ハイドラント場、クラブハウスを洪水や土砂災害、地震、大規模火災の発生時に指定緊急避難場所として使用することを約束するもので、市内で40か所目の指定、民間企業からの施設提供は3社目となります。

締結式に参加した工場長の古関雅文さんは「こういった機会をいただけて、地域に貢献できることが嬉しい。協定をきっかけに、いろいろな場面で協力していきたい。」と話しました。

1月26日

文化財防火デーに伴う消防訓練



消防訓練により虹がかかった犬山城

「第72回文化財防火デー」に併せて、犬山城において消防訓練を実施しました。

午前10時に天守2階南西付近から出火した想定で訓練が始まり、職員による屋内消火栓を使った初期消火や避難誘導、屋外消火栓や放水銃を使って消防団員と消防隊が放水訓練を行いました。

訓練実施のタイミングで犬山城を訪れた多くの観光客が、迫力ある放水の光景や放水によって犬山城に虹が架かった様子を写真に収めていました。

1月27日

ペット同室避難所運用訓練の実施



ペット同室避難所運用訓練の様子

楽田ふれあいセンターでペット同室避難所運用訓練を行い、犬8頭と猫3頭とその飼い主が参加しました。

ペット同室避難所は令和4年12月より運用を開始した、飼い主とペットが同じスペースで避難できる避難所で、災害時に犬山市民交流センターフロイデ・犬山市体育館・楽田ふれあいセンター内の3か所の各一室が指定されます。

訓練の参加者は、「避難所での飼い犬の状況が見られてよかった。講話を聞いてペット用防災グッズについて、改めて確認したい。」と防災意識を高めていました。